



芦屋市制施行80周年

80th
Anniversary
Memorials

芦屋市制施行80周年記念事業報告書



芦屋市

芦屋市民憲章

この憲章は、わたくしたち市民のひとりひとりが、その本分を守り、他人に迷惑をかけないという自覚に立って互いに反省し、各自が行動を規律しようとするものであります。

- 1 わたくしたち芦屋市民は、文化の高い教養豊かなまちをさずきましょう。
- 1 わたくしたち芦屋市民は、自然の風物を愛し、まちを緑と花でつつみましょう。
- 1 わたくしたち芦屋市民は、青少年の夢と希望をすこやかに育てましょう。
- 1 わたくしたち芦屋市民は、健康で明るく幸福なまちをつくりましょう。
- 1 わたくしたち芦屋市民は、災害や公害のない清潔で安全なまちにしましょう。

はじめに

昭和15年(1940年)11月10日、全国で173番目の市として誕生した芦屋市は、令和2年(2020年)で満80歳を迎えました。市制施行80周年記念期間には、多くの市民、市内企業や本市にゆかりのある団体の皆さまによって“これまでの芦屋と今のASHIYAを未来につなぐ”をテーマに芦屋市の魅力を実感し、地域への誇りと愛着を醸成する事業が市内各所で展開されました。また、令和2年から「新型コロナウイルス感染症」というこれまでに経験したことのない災害に直面したことから、記念事業を実施するにあたり市民の命を守る感染症対策はもとより、デジタル技術を駆使し、皆さまのご協力の基、新たな生活様式に則ったイベント開催をいたしました。

この報告書は、市制施行80周年を祝う市民、企業、団体の皆さまとともに記念事業期間を振り返り、育んだ芦屋への思いが、80周年をスタートとして、100周年、そしてその先の未来へとつながっていくようにと考え編集したものです。

Contents

基本方針	2
記念式典	4
協働の機会の創出	8
本市への更なる愛着の醸成	10
未来につながる関係性の構築	12
冠事業	15
映画「あしやのきゅうしよく」	17
資料	23

基本方針

市制施行80周年記念事業の基本理念

市制施行80周年では、先人たちの築いてこられた素晴らしい歴史も踏まえ、「これまでの芦屋と今のASHIYAを未来へつなぐ」をコンセプトに2つのテーマを事業の柱として推進しました。



協働の機会の創出

関係機関・市民との協働を通じ、協働の仕組みづくりの契機となる事業を展開します。



本市への更なる愛着の醸成

芦屋市のこれまでと今を見つめなおすことで更に愛着を深めます。

未来につながる関係性の構築

市制施行80周年記念日

令和2年(2020年)11月10日



記念事業期間

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、令和2年4月以降に実施予定であった市及び市民主催のイベントの多くが中止となったことから、事業期間を1年延長しました。

令和2年4月1日～令和4年3月31日

シンボルマーク

包括連携協定の締結先である神戸芸術工科大学との協働により市制施行80周年記念シンボルマークを作成しました。シンボルマークは2種類(うち1種類は4色展開)で、80周年の冠事業として申請いただいた市民イベントにもお使いいただきました。



芦屋市制施行80周年

芦屋市制施行 80周年記念事業

市制施行80周年記念式典

会場にお越しいただくことなく参加できる新たな試みとして
YouTubeのライブ配信による記念式典を挙行了しました。

～これまでの芦屋と今のASHIYAを未来へつなぐ～

実施日／令和3年11月7日(日)

会 場／市民センター ルナ・ホール

参加者／YouTubeライブ配信 のべ視聴者数 272人

当日会場参加者数 54人

市政功労者表彰／個人表彰 110人

団体表彰 87団体

式典内容

オープニングセレモニー	書道パフォーマンス	兵庫県立芦屋高等学校書道部
式辞	芦屋市長	いとう まい
議長挨拶	芦屋市議会議長	松 木 義 昭
お祝いメッセージのご紹介	兵庫県知事	齋 藤 元 彦
	参議院議員	末 松 信 介
	兵庫県議会議員	中 島 かおり
市政功労者表彰		
市民文化賞贈呈		
第5次芦屋市総合計画シンポジウム		
パネルディスカッション	ファシリテーター	浅 見 雅 之
	パネリスト	三 宅 正 弘
		山 崎 亮
		秋 田 琉 成
		古 賀 美 紅
閉 会		





芦屋市制施行80周年記念式典 式辞



芦屋市長
いとう まい

芦屋市は、昭和15年11月10日に全国で173番目の市として誕生し、令和2年11月10日に市制施行80周年という節目を迎えました。この80年に及ぶ歴史を振り返りますと、戦禍に見舞われながらも、昭和26年には芦屋国際文化住宅都市建設法の制定をはじめとする先人のたゆまぬ努力によって全国有数の住宅都市として発展し、芦屋の名が全国に知れ渡るようになりました。

その後もいくたびもの困難がございましたが、特に平成7年1月17日の阪神・淡路大震災では、多くの市民の生命と財産が奪われ、営々と築いてきた緑豊かなまちが一瞬にして崩壊しました。この災害は人とまちに大きな傷痕を残しましたが、ひたすら復旧・復興を目指された市民及び関係者各位のご理解、ご協力により、さらに美しく安全・安心で、緑豊かなまちとして生まれ変わり、今日の芦屋市がございます。ご尽力いただきました皆さま方に改めて心からの感謝を申し上げます。

そして現在、芦屋市も含む日本では、人口の減少、少子高齢化の進展、環境問題の深刻化、自然災害の激甚化など、地域だけでは解決することが困難な課題が顕在化しております。

さらに私たちは「新型コロナウイルス感染症」というこれまでに経験したことのない災害に直面したことを教訓に、市民の命を守る感染症対策はもとより、デジタル化への対応などをはじめとした新たな生活様式への変容が求められております。

この式典も、当初は80周年にあたる昨年に開催を予定しておりましたが、コロナ禍により延期とさせていただいておりました。そこで、この度は、コロナ禍以降の社会、新たな生活様式に向けた提案として、会場へ足をお運びいただくことなく、より多くの方々に参加いただける式典として開催することを決断いたしました。今しばらくは「with コロナ」の社会が続くと思われませんが、この難局に際し、市民の皆さまと共に懸命に取り組んだことは、コロナ禍で開催した本日の式典も含め、本市の歴史の1ページに深く刻まれることになると思います。

本日この場で感染拡大防止にご尽力をいただいているすべての皆さまに改めて心から感謝申し上げますとともに、今後も市民の皆さまが安心して、希望を持って暮らせるよう全力を挙げ、連綿と紡がれてきたこれまでの芦屋と本日の記憶を市制施行100周年への礎としながら、輝かしい未来の到来を信じて、新たな価値の共創へと挑戦する決意でございます。

まずは、この度策定いたしました、まちづくりの長期的な指針である第5次芦屋市総合計画の将来像「人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市」の実現に向けて、市民の皆さまと共に手を携え、そして心をつなぐ芦屋市の皆さまのため、持続可能で魅力的なまちづくりに邁進してまいります。

併せて70周年を迎えました芦屋市教育委員会、芦屋市消防本部におきましても新たな時代でも活躍できる教育の実現と、市民の皆さまの生命と財産を守るために、相携えて努力をしまっている所存でございます。

令和3年11月7日

芦屋市長

いとう まい

1・17を忘れない
芦屋市復興への歩み

被災



復旧



復興



協働の機会の創出



ASHIYA Cafe supported by NESCAFÉ 開設

【ネスレ日本株式会社及びNPO法人ホザナハウスと協働】

開設日／令和3年4月1日

子どもから大人まで世代を超えた多くの人々が集い、交流し、憩う場としてまた、障がいのある人の就労機会の創出及び市内の障がい福祉サービス等事業所で製作された物品等の販売を通じて障がいの理解を促進するとともに、相互に認め合い尊重する「共生」の場としての活用を目的に設置いたしました。

運営はネスレ日本株式会社及びNPO法人ホザナハウスにより共同運営され、店員にはNPO法人ホザナハウスにより直接雇用された障がいのある人が就労されています。

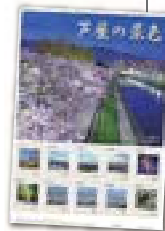


市制施行80周年記念切手発売

【日本郵便近畿支社と協働】

発売日／令和2年4月

市と包括連携協定を締結している市内郵便局において、芦屋市制施行80周年を記念して本市の風景を収めたオリジナルフレーム切手を作成いただき、本市や西宮市の58か所の郵便局で販売いただきました。



芦屋市制施行80周年記念記事

【神戸新聞社と協働】

掲載日／令和3年11月27日(朝刊)

神戸新聞社において、芦屋市制施行80周年記念記事を作成いただきました。当該ページでは、本市の魅力でもある「無電柱化」や「自校式の給食」に加え、ASHIYA想創課の活動についても取り上げていただきました。

ラッピング列車 SDGsトレイン

【阪急阪神ホールディングス株式会社と協働】

掲載期間／令和2年3月～6月

令和3年9月～11月

SDGsの啓発メッセージを発信する「SDGsトレイン 未来のゆめ・まち号」の運行において、SDGsの項目17「パートナーシップで目標を達成しよう」に沿ったポスターの社内掲示により市制施行80周年をPRしました。なお、ポスターは本市と包括連携協定を締結している神戸芸術工科大学との協働により制作したものです。



市民提案型事業補助金

市制施行80周年記念をきっかけに、補助制度を拡充し、市民活動の取組を推進しました。

市民提案型事業補助金とは……

「市民参画・協働による住みよいまちづくり」を推進するため市民活動団体等が、地域課題の解決(安全・安心、福祉、環境衛生等の課題解決の他、地域の活性化や魅力発信)に向けて自主的に取り組む提案型事業に対し、その事業に要する経費の一部を補助するものです。

令和2年度採択事業

- 多世代交流を図り、共助・自助地域をつくるための「地域茶会」
- わたしは わたしそのままでいい
- 芦屋 農Knowマーケット
- サステイナブルなファッションの楽しみ方
- 市民活動サポート「芦屋イベントバンク」
- 新しい活躍市民を育てる「芦屋まちデザインラボ」

令和3年度採択事業

- きらくに歌おう会
- 芦屋市民の「ワクワクを知る権利」を向上させる事業
- 洋服でつながり、洋服で楽しむ
- シユタイナー教育で芦屋の未来の担い手づくりを!
- 高齢者の交流と見守りと健康づくりをする「喫茶去体操会」
- シニアライフ・トータルサポート講座の運営
- デコボコパーク

芦屋まちデザインラボ

市内の市民活動に対して支援や情報発信などで関わり、より良い活動を生み出すための実験的かつ活動促進を行っている芦屋まちデザインラボでは、80周年を記念して、市民活動をしている人・団体等へのインタビューなどによる冊子作成とともに市民活動をしている人・団体等を集めたワークショップを開催しました。



本市への更なる愛着の醸成



#芦屋エール飯& #芦屋エール店

実施日/令和2年4月27日
新型コロナウイルス感染症感染拡大により来店客の減少など大きな影響を受けている市内の飲食店について、テイクアウトやデリバリー商品の情報を、市民、飲食店それぞれからInstagramで発信することにより応援する取組「#芦屋エール飯」を開始し、その後、サービス業等のお店を応援する取組「#芦屋エール店」を立ち上げ、市内事業者全体を応援しました。
「お気に入りのお店の商品を紹介したい」、「自店おすすめ料理をテイクアウトしてもらいたい」といった情報をInstagramに投稿することで応援しました。

赤星憲広さん車いす贈呈式&講演会、 条例愛称名表彰式、パラスポーツ体験会

実施日/令和3年11月28日 参加者数/講演会 122人 パラスポーツ体験会 57人

元プロ野球選手の赤星憲広さんから車いすを寄附いただくとともに「違いを認め合い、共に支え合うまち~パラリンピックの精神が社会を変える~」をテーマとしてご講演いただきました。また、同日には、「芦屋市障がい理由とする差別のない誰もが共に暮らせるまち条例」の愛称名の披露及び最優秀賞の表彰式並びにパラスポーツ(ボッチャ・フライングディスク)の体験会も実施しました。



Road to 2040 ASHIYA

公開日/令和2年11月10日
これまでと今を知り、20年後の2040年、市制施行100周年の芦屋市を考えるためのWEB冊子を作成しました。芦屋の未来への思いを多彩な方々に聞くインタビュー、芦屋市公式Instagramアカウントの投稿写真で市内のスポットを紹介する「イマの芦屋を撮影しました」、「まちを彩る芦屋ヒストリー」の3つのパートで構成しています。

図書館スタンプラリー

実施期間/令和3年11月3日~11月24日
図書館を巡り、本を借りることで本と人とを結びつけるとともに「読書のまちあしや」を周知するきっかけとなるようスタンプラリーを実施しました。図書館・分室、公民館図書室、上宮川文化センターの5施設を周り、各施設で本を1冊以上借りることでスタンプを押し、5施設すべてのスタンプを集めた方全員に「読書手帳」をプレゼントしました。

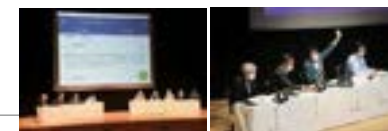


芦屋ロックガーデン講演会

実施日/令和3年10月23日 参加者/50人
芦屋川のアウトドアショップ「Sky High Mountain Works」のオーナー北野拓也氏を講師にお招きし、ロックガーデンの遊び方について解説いただき、改めてロックガーデンや六甲山の魅力を学び、近代ロッククライミング発祥の地としての魅力を再発見いたしました。

オープンミーティング& 第5次芦屋市総合計画シンポジウム

実施日/オープンミーティング:令和3年10月23日
第5次芦屋市総合計画シンポジウム:令和3年11月7日
参加者/オープンミーティング:当日会場参加者数 67人、YouTubeライブ配信の視聴者数92人
第5次芦屋市総合計画シンポジウム:当日会場参加者数 54人、YouTubeライブ配信の視聴者数272人(再掲)
第5次芦屋市総合計画の策定に合わせて、市長と市民が直接意見交換を行うオープンミーティングを開催するとともに、別日では有識者等をお招きしたシンポジウムも開催いたしました。80周年を次の100周年に向けたスタートと位置付け、未来の芦屋市について考える場となり、活発な意見交換がなされました。



ひょうご女性未来会議 in あしや

開催日/令和3年11月27日
さまざまな分野で活躍する兵庫の女性たちが集い、互いにエンパワーメントしながらネットワークづくりや情報交換を行う取り組みを展開しているひょうご女性未来会議をオンラインで動画配信し、男女共同参画社会の実現について考える場となりました。

講演会講師:荻野 真友子 氏
(株式会社三省堂 出版局・辞書出版部 編集者)
「辞書の記述が変わるとき」~日本語のプロと一緒にジェンダーの言葉を見つめ直しませんか?~



芦屋の歴史文化遺産を未来へつなぐプロジェクト

公開日/令和4年3月29日
芦屋の歴史文化遺産を未来へ継承していくことを目的に、地元発掘メディア『あしやらへん』編集部とともに古写真の撮影場所を探すワークショップを実施し、その成果をインターネットで公開しました。





ASHIYA CITY 80TH ANNIVERSARY
 # \$ % & み () * " + , - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 : * (; < 2 = > ? @ A B C 9
 み * (D E F G H I J H み 7 8 9 9

何を募集しているの？

芦屋市80周年テーマである「未来に繋がる関係性の構築」の象徴として、市内の高校生と協議会(市民の代表)と市で協力して80周年を盛り上げるためのPR大使を募集しています。

何をするの？

- ・市や市民が開催する芦屋市制施行80周年記念事業に参加して、PRしよう！
- ・芦屋がもっと好きになる企画をみんなで考えよう！

- <対象者> 市内在住・在学の高校生(定員はありません)
 <参加方法> 参加希望の場合は下記のお問い合わせ先でメールで募集してください。
 必要項目は「氏名(フリガナ)・住所・所属高校・学年」です。応募された方は下記の説明会・ワークショップに参加してください！友達を誘って気軽に参加してくださいね。
 <日時> 令和2年11月19日(日)9時～12時まで
 <場所> あしや市民活動センター リードあしや1階オープンスペース

<お問い合わせ先> 芦屋市企画部政策推進課 TEL:0797-38-2127
 Mail:seisakusuisin@city.ashiya.lg.jp

芦屋市制施行80周年記念事業協議会

本会は、市制施行80周年にかかる各種事業を実施するにあたり、関係機関が連携を密にして、円滑な事業実施を図ることを目的として発足されました。なお、本会主催事業については記念事業の趣旨を鑑みて、市内の高校生による実行委員会を立ち上げ、事業の推進は本市の未来を担う若者を中心に行い、本会がサポートする体制で実施することを決定いたしました。



芦屋市制施行80周年記念事業協議会実行委員会

(通称：ASHIYA 想創課)

ASHIYA 想創課とは

芦屋市制施行80周年記念事業の事業目標である「未来につながる関係性の構築」につながる取組として、市内在住・在学高校生を中心に総勢28名で結成されたプロジェクトチームです。また、事業を円滑に実施するため、芦屋市成人式実行委員会OBの方にも加わっていただきました。

委員会名の由来

「ASHIYA想創課」という名称は、高校生が考えたチームビジョン『想いで創る未来のASHIYA』を基に作られています。「想い」という言葉には、自らの「想い」(人間性)を大事にしつつも相手の「想い」を尊重するという意味が、「創る」という言葉には、楽しみながら新たなことに挑戦するという意味が込められています。

運営方法

当初、月1回程度の会議を重ね、令和2年6月のイベント実施に向けて運営する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、オンラインミーティングを主として運営しました。
 <ミーティング実施回数>
 オンラインミーティング：53回
 オフラインミーティング：5回



動画作成事業

公開日/令和2年7月25日 YouTube再生回数/2080回

芦屋市の魅力発信と「コロナ禍でも街はつながっている」というメッセージを込めた動画を作成し、YouTubeに公開しました。動画作成指導者を招聘し、動画絵コンテの作成方法から撮影技術までご教示いただき、高校生自ら撮影店舗のアポイントメントと調整を行うことで、市民活動を経験する機会としました。

動画のコンセプト

芦屋を満喫 for 高校生「食べよう、遊ぼう→青春」

動画の内容

市内の飲食店等にご協力いただき、高校生がふだんから使用しているお勧めのお店から芦屋の魅力を発信するプロモーション動画として撮影しました。なお、動画の構成は「オープニング→飲食店プロモーション(4店舗)→エンディング」のストーリー仕立てにしており、動画全体を通じて、コロナ禍でも街はつながっているというメッセージをドミノで表現しました。



ASHIYA 想創課

WEBサイト作成事業

公開日/令和3年3月1日

コロナ禍により影響を受けている芦屋の飲食店を応援するため、高校生おススメの「テイクアウト可能な駅近飲食店」を紹介する芦屋の魅力発信WEBサイトを作成しました。サイトの作成にあたっては、高校生にプロの技術を学んでいただくため、ウェブデザイナーとライターの方に講師として講義いただき、ウェブサイトの立ち上げ方から取材方法、記事作成指導、校正にいたるまでご協力いただきました。また、取材交渉や記事確認のやり取りはメールや電話で行い、聞き取り取材は全店オンラインで実施するなど、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に最大限配慮した上で実施いたしました。



冠事業

実施日	事業名	事業内容/場所	主催
2020年 6月～9月	藍のファッション展	<input type="checkbox"/> 芦屋市立美術博物館事業(企画展) <input type="checkbox"/> 芦屋市立美術博物館	芦屋市 教育委員会
2020年 6月～9月	夏の特設展 「大谷崎と文豪たち」	<input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館事業(企画展) <input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館	芦屋市 教育委員会
2020年 6月6日	1970年の音を聴く～2台のピアノと電子音響のためのシュトックハウゼン「マントラ」	<input type="checkbox"/> 2台のピアノと電子音響が織りなす豪華な音の世界 <input type="checkbox"/> ルナ・ホール	芦屋市
2020年 9月～11月	芦屋の時間 大コレクション展	<input type="checkbox"/> 芦屋市立美術博物館事業(企画展) <input type="checkbox"/> 芦屋市立美術博物館	芦屋市 教育委員会
2020年 9月～12月	秋の特別展 「タブー 一発禁の誘惑ー」	<input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館事業(企画展) <input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館	芦屋市 教育委員会
2020年 9月18日 ～9月25日	「私のたんじりまつり」 絵画&川柳コンクール	<input type="checkbox"/> 市民から「わたしのたんじり祭り」をテーマに絵画と川柳を募集し、表彰	「私のたんじり祭り」 事業実行委員会
2020年 10月24日	NHK公開収録 「リサイタル・パッシオ」	<input type="checkbox"/> NHK-FMラジオ番組「リサイタル・パッシオ」の公開収録を実施。情熱(パッシオ)あふれる音楽・クラシック演奏家の熱い思いを伝えるミニリサイタル。 <input type="checkbox"/> ルナ・ホール	芦屋市
2020年12月 ～2021年2月	迷路絵本 香川元太郎の世界展	<input type="checkbox"/> 芦屋市立美術博物館事業(企画展) <input type="checkbox"/> 芦屋市立美術博物館	芦屋市 教育委員会
2020年12月 ～2021年3月	冬の特設展 「初版本 on パレード」	<input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館事業(企画展) <input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館	芦屋市 教育委員会
2021年 1月23日	松永貴志ジャズライブ	<input type="checkbox"/> 芦屋市出身、世界的なジャズピアニストとして、第一線で活躍を続ける松永貴志氏によるジャズライブ。 <input type="checkbox"/> ルナ・ホール	芦屋市
2021年 3月～5月	「植松奎二 みえないものへ、触れる方法ー直観」展	<input type="checkbox"/> 芦屋市立美術博物館事業(企画展) <input type="checkbox"/> 芦屋市立美術博物館	芦屋市 教育委員会
2021年 3月～6月	春の特別展 「美の文豪 潤一郎」	<input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館事業(企画展) <input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館	芦屋市 教育委員会
2021年 6月～9月	夏の特設展 「大正の〈文豪〉ブーム」	<input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館事業(企画展) <input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館	芦屋市 教育委員会
2021年 7月24日	第35回残月祭 榎野道流講演会	<input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館事業(講演会) <input type="checkbox"/> ルナ・ホール	芦屋市 教育委員会



実施日	事業名	事業内容/場所	主催
2021年 7月30日	菊寿会「芦屋市制施行80周年 メモリアル植樹式」	<input type="checkbox"/> 市制施行80周年を記念した植樹 <input type="checkbox"/> 旧宮塚町住宅	芦屋市民 文化賞受賞者 懇話会 菊寿会
2021年8月 ～2022年3月	保健福祉センター エントランスパネル展	<input type="checkbox"/> 保健福祉センターや保健福祉等にかかる市の事業・団体活動を パネル展示により紹介 <input type="checkbox"/> 保健福祉センター エントランスホール	芦屋市
2021年 8月8日	井関花 PIANO CONCERT	<input type="checkbox"/> ピアノリサイタル <input type="checkbox"/> カトリック芦屋教会	井関花 ピアノリサイタル 実行委員会
2021年 8月12日	あしやの火	<input type="checkbox"/> 書道パフォーマンス及び「あしやの火」採火式 (東京パラリンピック採火式)の実施 <input type="checkbox"/> 芦屋市立精道小学校	芦屋市民 活動センター
2021年 9月～12月	秋の特別展 「[細雪]日常への憧憬」	<input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館事業(企画展) <input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館	芦屋市 教育委員会
2021年 9月20日	芦屋フィルハーモニー 管弦楽団コンサート「響」	<input type="checkbox"/> 多くの方の心の支えになるようなコンサート <input type="checkbox"/> ルナ・ホール	芦屋フィル ハーモニー 管弦楽団
2021年 11月13日	芦屋の魅力をルーツを探る!! ～歴史・文化・SDGsの視点から 紐解く～	<input type="checkbox"/> 市制施行80周年を記念し、考古学や阪神モダニズム、 具体美術などの各視点から芦屋の魅力を再発見し、 さらに、SDGs(国連が採択した世界を変えるための17の目標) から芦屋の未来について考えるシンポジウム <input type="checkbox"/> 芦屋市立美術館	芦屋市 教育委員会
2021年 11月23日	「細雪」上映会	<input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館事業(上映会) <input type="checkbox"/> ルナ・ホール	芦屋市 教育委員会
2021年12月 ～2022年3月	冬の特設展 「谷崎からの手紙」	<input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館事業(企画展) <input type="checkbox"/> 芦屋市谷崎潤一郎記念館	芦屋市 教育委員会
2021年12月28日 ～2022年1月17日	徳川大坂城東六甲採石場 四百年記念講演会	<input type="checkbox"/> 「徳川大坂城東六甲採石場」の歴史的価値や魅力に迫る、記念講 演会を開催 <input type="checkbox"/> オンラインにより開催	芦屋市 教育委員会
2022年 1月10日	芦屋市成人式	<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症対策のため、3部構成で実施 ※インターネット「ライブ配信」有 1部：山手中学校区居住者 2部：潮見中学校区居住者 3部：精道中学校区居住者 <input type="checkbox"/> ルナ・ホール	芦屋市・ 芦屋市 教育委員会
2022年 1月23日	芦屋市防災総合訓練 (ザ・リモート)	<input type="checkbox"/> リアルな体感や臨場感ある映像演出によるオンライン訓練に参 加することにより、様々な防災課題ミッションをクリアし、災害 時に必要な知識を身につける事ができるイベントを実施。 <input type="checkbox"/> オンラインにより開催	芦屋市
2022年 1月29日 ～30日	第64回 芦屋市書道展	<input type="checkbox"/> 公募展 (幼児、小学、中学、高校、一般に分けて募集し、展示) <input type="checkbox"/> 市民センター	芦屋市 書道協会

映画「あしやのきゅうしょく」



芦屋市制施行80周年記念作品として
数々の思い出が詰まった
学校給食をテーマに、
「食」を通して繋がっていく
人々の「絆」を丁寧に描く。

映画 「あしやのきゅうしょく」

芦屋市制施行80周年に合わせて、自校式による徹底した手作りで
美味しいと評判の「芦屋の給食」を題材に映画化されました。

映画を通じて現在の芦屋市を未来に残し、
日本全国、そして世界へと芦屋市の魅力を広めていきます。

芦屋市制施行80周年記念作品



Credit

松田るか
堀内正美 桂文珍 赤井英和 秋野暢子
石田卓也 仁科貴 藤本泉 麻生えりか
宮地真緒 栗田倫太郎 小笠原拓己 芹沢凜

プロデューサー：高瀬博行
脚本：白羽弥仁 岡本博文 音楽：妹尾武
撮影：吉沢和晃 照明：鈴木真琴 録音：高島良太
編集：小谷晃一 音響効果：野崎博樹
美術：阿久津桂
衣裳：岩田友裕 メイク：タナカミホ キャスティング：田山大悟
助監督：岡本博文
ラインプロデューサー：牧義寛

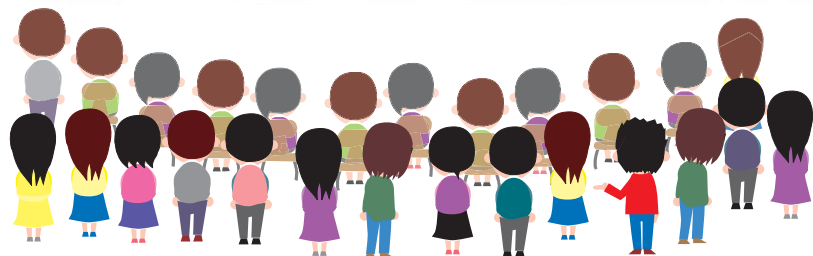
主題歌：「ドラセナ」大塚愛 (㊤ ㊤ ㊤ ㊤ ㊤)

特別協力：芦屋市 芦屋市教育委員会
協力：新潮社 森永乳業 芦屋市学校栄養士会 芦屋市学校調理師会
配給：アークエンタテインメント
制作プロダクション：北海道映画舎
製作：TKS plus ドルチェ・ビータ

監督：白羽 弥仁

芦屋市制施行 80 周年記念事業

©2022 「あしやのきゅうしょく」 製作委員会
2022 / 日本 / カラー / 86分 / Full HD / 5.1ch
公式サイト：ashiyankyushoku.com



映画「あしやのきゅうしょく」出演者オーディション開催

日 時：令和2年2月8日、令和2年2月9日
場 所：市民センター

製作発表

日 時：令和3年3月21日
場 所：芦屋市役所 東館 3F大会議室
登壇者：(監督)白羽弥仁 (主演)松田るか
(芦屋市長)いとうまい

試写会

日 時：令和3年11月8日
場 所：ルナ・ホール
参加者：221人

関西先行公開

日 時：令和4年2月4日
場 所：OSシネマズミント神戸、テアトル梅田、アップリンク京都

舞台挨拶

日 時：令和4年2月5日
場 所：OSシネマズミント神戸、テアトル梅田、アップリンク京都
登壇者：(監督)白羽弥仁 (主演)松田るか
(芦屋市長※神戸、大阪のみ)いとうまい

一般公開

日 時：令和4年3月4日
場 所：新宿武蔵野館ほか

舞台挨拶

日 時：令和4年3月5日
場 所：新宿武蔵野館
登壇者：(監督)白羽弥仁 (主演)松田るか (出演者)秋野暢子

芦屋市制施行80周年記念映画として

数々の思い出が詰まった学校給食をテーマに、
「食」を通して繋がっていく人々の「絆」を丁寧に描く――

北に六甲山地、南に大阪湾を臨んだ豊かな自然と、固有の阪神間モダニズム文化に育まれた瀟洒な街並を擁する兵庫県芦屋市。芦屋市では、給食開始当初より「温かいものは温かく、冷たいものは冷たく」作りたてを味わってもらえる自校式給食に加え、各校に1名専属で配置された栄養士によるオリジナルの独立メニューを展開するなど、給食への取り組みが注目されている。

そんな芦屋の市制施行80周年を記念して、製作された映画「あしやのきゅうしょく」。映画を通じて現在の芦屋市の姿を未来に残し、日本全国、そして世界へと芦屋市の魅力を広めていくために――。

物語は、芦屋の小学校に勤務する新米栄養士を通して描かれるヒューマンドラマ。美味しい給食を食べる子どもたちの笑顔のため、日々奮闘する主人公・野々村菜々。本作に登場する給食メニューにも注目だが、日々給食を作る人たちの大変な調理現場の裏側も映し出されている。よりコストを押さえるため、仕入れ先の協力も欠かせない。子どもたちの成長を守る給食を通し、関わる人々の「絆」を丁寧にタッチで描いています。

誰もがお世話になったであろう学校給食。特に小学校の給食時間は、学校生活の思い出の中でも色々な記憶が凝縮されている。嫌いな物と格闘した苦い思い出、授業時間からの解放、友達との楽しい会話など、そこには忘れられない瞬間がぎゅっと詰め込まれている。本作を通し、子どもにとっての「食」の大切さ、そして素敵ない思い出にもう一度、出会ってほしい――。



映画「あしやのきゅうしよく」
主演：松田るかさん インタビュー

芦屋にはどのような印象を持たれましたか？

関西出身のメイクさんに芦屋市で撮影することを言った時「関西のピバリーヒルズって感じ、上品なママやダンディな人がたくさんいるよ」と言われ芦屋市に行きました。実際に行ってみたら、気取った感じはまったくなく緑豊かなゆっくりとした時間が流れるまちだと思いました。

芦屋の給食を実際に食べた感想は？

給食の味見をする撮影シーンで春野菜の煮物をいただいた時に、味を何層にも重ねたような深さを感じ、とても繊細な味に驚きました。撮影が始まる前から出汁の香りが給食室に広がっていたので、その香りだけでもすごくハッピーな気持ちになりました。

映画を通して伝えたいこと、感じてほしいことはありますか？

この映画では、食材の良さや給食の美味しさだけにフォーカスを当てるのではなく、料理は「いつ・誰と食べるのか」がとても大切で、同じ料理を食べても感じ方が変わってくることを伝えていきます。給食を通して私たちが子どもたちに寄り添い、また逆に子どもたちからも給食を通して私に寄り添ってくれるような描写があり、ひとつの料理にもいろいろな人の思いや葛藤が詰まっていることにフォーカスが当てられていると思います。映画を見終わった後に「いま1番いっしょにご飯を食べたい人へ連絡してほしいな」って思います。

これから映画をご覧になる皆さんへ一言お願いします。

給食のメニューに一瞥一曇して食べていた子どもの頃には、考えもしていませんでしたが、この映画で「野々村菜々」を演じることで「今まで多くの人に支えられ見守られながら成長してきたんだなあ」ってすごく感じました。この映画を見ていただいた皆さんも、きっと家族やパートナー、友達など自分の周りにいてくれる人たちに「いつもありがとう」って感謝する気持ちが湧いてくると思います。



Profile



松田るか

1995年10月生まれ、沖縄県出身。
2006年デビュー。2016年ドラマ「仮面ライダーエグゼイド」にヒロインの飯野明日那 / ポッピービバポ役でレギュラー出演。
2018年にはドラマ「賭ケグルイ」の熱演が話題になり、その後2020年NHK連続テレビ小説「スカーレット」に出演。2021年の舞台「ヒミズ」ではヒロインを演じた。出演映画には「賭ケグルイ」シリーズ(19/21)、「映画 としまえん」(19)などがある。



映画「あしやのきゅうしよく」は永遠のタイムカプセル
映画監督：白羽弥仁さん インタビュー

映画「あしやのきゅうしよく」には、実際に芦屋の市立小・中学校に通う生徒の皆さんが多数出演しています。ということは普段から「芦屋の給食」に親しんでいる訳で、給食を教室に運び、配膳し、マナーとエチケットを守って食事をするというルーティンが完璧に済んでいるので、撮影でのぎこちなさやわざとらしさは微塵もありません。イマドキの小学生はカメラ度胸もあります。キョロキョロ目が泳いだり、緊張でガチガチになったりしないばかりか、撮影後には「まだまだ自分の演技はダメだ」と「反省の弁」を伝えてくれた子もいました。頼もしい限りです。

また、生徒役のお母様から、私の映画監督デビュー作「She's Rain」に高校生役のエキストラで出演していましたと聞かされ驚愕しました。因らずも親子二代でのご出演、長いことやっているこんな素敵な縁もあるのかと思いました。

その「She's Rain」には1992年夏の芦屋の風景が映っています。今では平田町のレストランは様変わりし、岩園町の交差点の歩道橋もありません。松浜町の公園あたりだけはあまり変わっておらず、今回の映画でも29年ぶりにロケーションしました。

あの頃と同じくヒロインは自転車で芦屋川沿いを駆け抜けます。何故かあの場所は自転車で駆け抜けたいのです。また同じことをやってしまいました。

昭和40年代前半、私が小学校に上がるまで大原町に住んでいました。この映画の打ち合わせを終えたある日、記憶を頼りに実家があった場所を尋ねてみました。かつての面影は殆どなかったのですが、家の前にあった赤い丸型のポストだけは当時のままそこに在りました。今も車でその場所を通り過ぎる度にポストの無事を確認します。この丸いポストは今もたまたま私のタイムカプセルなのです。

映画「あしやのきゅうしよく」は、幼き頃の私や私の家族を見つめていたこのポストのように、いまを生きる芦屋の子どもたちの姿を焼き付けた永遠のタイムカプセルでもあるのです。



白羽弥仁(しらはみつと) 映画監督

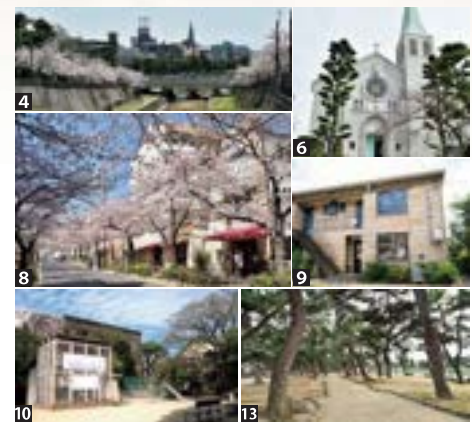
1964年生まれ、兵庫県芦屋市出身。
日本大学藝術学部演劇学科卒。
1993年「She's Rain」で監督デビュー。本作は阪神・淡路大震災直前の阪神間の風景を収めた作品として現在に至るまで人気を誇る。「劇場版 神戸在住」(2015)は阪神・淡路大震災20年・サンテレビ開局45周年記念作品。日本台湾合作映画「ママ、ごんばまだ?」(2017)がサンセバスチャン国際映画祭に正式出品される。ほかに「能登の花ヨメ」(2008)「みどりし」(2019)。

映画「あしやのきゅうしよく」ロケ地紹介

芦屋市内回ヶ地マップ

- 1 山手小学校(主に教室)
- 2 重信医院
- 3 阪急芦屋川駅前
- 4 大正橋
- 5 ハナヤ勘兵衛(写真館)
- 6 カトリック芦屋教会
- 7 芦屋むらかみ(豆腐店)
- 8 茶屋之町(駅前通り)
- 9 ティーサロンズジカ《旧宮塚町住宅》
- 10 打出公園
- 11 図書館打出分室
- 12 精道小学校(主に給食室)
- 13 芦屋公園
- 14 福祉センター救護室

映画「あしやのきゅうしよく」の舞台となった市内のロケ地を紹介します。



芦屋市の学校給食が「女子栄養大学特別賞」を受賞

全国の学校給食で提供されている献立を競う「第16回全国学校給食甲子園」において、芦屋市の学校給食が「女子栄養大学特別賞(準優勝に次ぐ優れた献立)」を受賞しました。

全国の学校給食1,355の中から12まで絞られた給食の最終審査の発表が12月4日にオンラインで開催され、その様様がYouTubeで実況中継されました。



受賞を喜ぶ栄養士の奥瑞恵(左)と調理師の砂田久佳(右)

受賞した献立



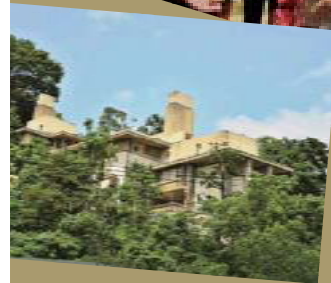
献立内容

- ・丹波黒豆de赤飯 ・牛乳
- ・鶏肉と岩津葱のご馳走盛り
- ・ひょうご五国サラダ
- ・瀬戸の焼きのり
- ・トマトの旨味スープ
- ・神戸いちごソースミルクプリン



受賞メニューが12月2日に精道中学校で提供されました。

生徒たちがおいしそうに給食を頬べる姿が印象的で、今回受賞した給食のメニューの素晴らしさを物語っていました。



資料

芦屋市出来事年表

70周年から80周年の歩み



高浜町の市営住宅

2011
〈平成23年〉

- 1月 シルバー人材センター「はつらつ館」新築移転
- 2月 会下山遺跡が国史跡指定される
- 4月 潮芦屋交流センター オープン



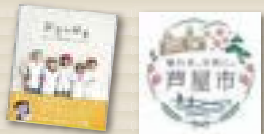
2012
〈平成24年〉

- 4月 芦屋川流域を景観初の市指定文化財「芦屋川の文化的景観」に指定
- 6月 市立芦屋病院新病棟の完成



2017
〈平成29年〉

- 3月 旧芦屋郵便局電話事務室(芦屋モノリス)が国登録有形文化財登録決定
- 4月 「憧れを、日常に。」シティプロモーション始動
- 4月~12月 市役所食堂での給食メニュー提供・精進小学校が全国学校給食甲子園中部・近畿ブロック代表で出場し優秀賞受賞
- 5月 給食レシピ本「芦屋の給食」の発行、大人気に
- 11月 芦屋仏教会館が国登録有形文化財登録決定

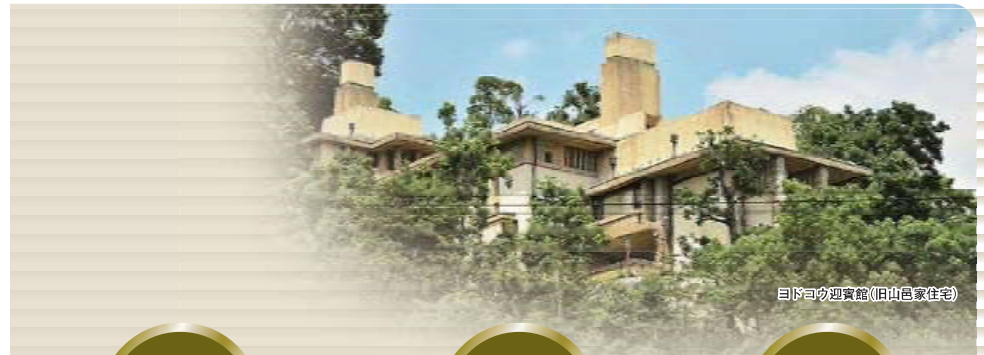


2018
〈平成30年〉

- 3月 ①新高浜分署の完成
- 4月 宮塚公園リニューアルオープン
- 10月 芦屋仏教会館とカトリック芦屋教会を景観重要建造物に指定
- 10月 ②高浜町の市営住宅の完成
- 11月 「芦屋市無電柱化推進条例」施行
- 12月 ③社会福祉複合施設 高浜町ライフサポートステーションの完成 (①②③で高浜町1番街区完成)



2011年(平成23年)~2020年(令和2年)



目杜の迎賓館(旧山邑家住宅)

2013
〈平成25年〉

- 4月 公光分庁舎北館にあしや市民活動センターリードあしやが移転・オープン



2015
〈平成27年〉

- 7月~11月 戦後70年・非核平和都市宣言30周年(昭和60年芦屋市議会決議)平和祈念事業の実施
- 10月 中学校給食開始



2016
〈平成28年〉

- 7月 芦屋市屋外広告物条例の施行

2019
〈令和元年〉

- 6月 山中健氏、4期16年の任期を終え市長ご退任
- 6月 第22代市長 伊藤舞市政誕生
- 12月 旧宮塚町住宅本格始動(宮塚町住宅オープニングイベント開催)



2020
〈令和2年〉

- 5月 芦屋市パートナーシップ宣誓制度開始
- 6月 「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷日本遺産認定及び目杜の迎賓館(旧山邑家住宅)、芦屋川の文化的景観、芦屋川水車絵図の日本遺産構成文化財認定



80周年記念事業協議会委員名簿&ASHIYA想創課名簿

芦屋市制施行80周年記念事業協議会 委員名簿

氏名	役職	団体
いとうまい	名誉会長	芦屋市長
中島 健一	顧問	芦屋市議会
中島かおり	顧問	兵庫県議会
永瀬 隆一	会長	芦屋市商工会
助野 光男	副会長	芦屋市自治会連合会
空田 和具(令和元年1月17日～令和3年3月31日) 樋口 勝紀(令和3年4月1日～令和4年3月31日)	理事	芦屋市環境衛生協会
戎井 恭子	監事	芦屋市婦人会
加納多恵子	理事	芦屋市社会福祉協議会
城 純一	会計	芦屋観光協会
水落 充	理事	芦屋納税協会
石本 章宏	理事	芦屋経済人会議
寺田 雄人	理事	ASHIYA想創課

ASHIYA想創課 名簿

高校生

氏名	所属	氏名	所属
秋田 琉成	甲南高等学校	野田 陽菜	県立芦屋高等学校
石田 瞳	県立芦屋高等学校	野妻 綾	県立芦屋高等学校
泉 純麗	クラーク記念国際高等学校	林 亮佑	クラーク記念国際高等学校
上村貴太郎	甲南高等学校	端山このみ	クラーク記念国際高等学校
大橋乃々香	県立芦屋高等学校	藤崎 大悟	灘高等学校
小出 浩暉	県立兵庫高等学校	藤原菜希彩	クラーク記念国際高等学校
古賀 美紅	クラーク記念国際高等学校	松岡 優輝	クラーク記念国際高等学校
佐藤 仁菜	県立芦屋高等学校	丸山くるみ	クラーク記念国際高等学校
白木 結菜	県立芦屋高等学校	安尾 優輝	灘高等学校
武内あずみ	クラーク記念国際高等学校	矢野 結愛	県立芦屋高等学校
田中 高志	クラーク記念国際高等学校	山崎 新	仁川学院高等学校
田中 暉	県立兵庫高等学校	山西 敦士	クラーク記念国際高等学校
灘本 雄大	県立芦屋高等学校	山本 卿慈	クラーク記念国際高等学校

サポートメンバー

氏名	所属	氏名	所属
佐藤 玄主	芦屋市成人式実行委員会OB	寺田 雄人	芦屋市成人式実行委員会OB

推進体制



